しゅっぽっぽ便り　No. 26　2024年（令和6年）3月10日発行：若桜線SL遺産保存会
（やずミニSL博物館指定管理者）

しゅっぽっぽ便り

～第26号～

【コンテンツ】
〇コンサート紹介
〇紹介コーナー

春のやずぽっぽコンサート開催
ウクレレ・デュオ タローズ・コンサート

冬期休館中であった当博物館も3月1日から開館し営業再開したところ、今年は春からロケットダッシュとばかりに、4月にやずぽっぽコンサートを企画しています。

岩美町のコンサートオフィス音楽院のご協力の下、ウクレレデュオ「タローズ」によるウクレレとギターによるコンサートです。関西を拠点に活躍している和本正貴さんと鶴丸将太さんのお二人が奏でる軽快な演奏をお楽しみください。

（演奏プログラム）
糸、ルパン三世のテーマ、高原列車、汽車ぽっぽ　ほか

令和６年度の行事（予定）
〇鉄道おもちゃ展示（１回目：５月GW、２回目：１０月）
〇第４回チェロ・アンサンブル・エクラ・コンサート
（９月２３日（月・祝））

さくら大茶会開催
ふなおか竹林公園の早春行事です。

ふなおか竹林公園の3月行事の紹介です。

若桜の人気カフェ「URUWASHI」が竹林公園で出前出店されます。名付けて「さくら大茶会」。暖冬の今年の冬、桜の開花もいつもより早いものと思います。

早春の竹林公園において桜とお茶を満喫してみてはいかがでしょうか。

日時：３月２９日（金）
午後２時から７時３０分
場所：ふなおか竹林公園
料金：１，８００円（当日）
前売券１，５００円
３／１販売開始
販売：船岡竹林公園

車両紹介（特急サンダーバード）

令和６年能登半島地震被災地支援活動に参加した編集員が乗車した特急「サンダーバード」を今回は取り上げます。

「サンダーバード」は、北陸本線の金沢ー大阪間を結ぶ６８３系電車で、北陸を代表する車両のひとつ、一度は乗車してみたい車両です。その名前の由来は特急・雷鳥からといわれていますが、雷鳥の英名は「グラウス」、一説によると人気テレビ番組のサンダーバードの方が認知度が高くお客さんに定着しやすいという理由だとか真偽のほどは未確認です。

やずミニＳＬ博物館（やずぽっぽ）
〒680-0408 鳥取県八頭郡八頭町西谷　竹林公園内
TEL：0858-71-0032　FAX：0858-71-0432
E-mail：yazuminisl@yahoo.co.jp

開館時期：3月1日から11月30日
開館時間：10時から15時（土日・祝日は16時迄）
乗車体験は10時から15時まで
入 館 料：高校生以上200円、乗車体験料100円/回